

韓国京畿道龍仁市にある江南大学と附属学校を訪問してきました。

2026年2月24日から27日にかけて、韓国ソウル特別市・京畿道龍仁市へフィールドワークに行ってきました。このフィールドワークの目的は、海外の教育機関の見学と、学生交流です。

25日(水)は渡邊・金戸・大杉の35名が合同で江南大学とその附属校園の見学を行いました。

朝、ホテルのあるソウル市明洞のバス停から Tomoney card (交通カード) を使って都市間バスでソウル南部の龍仁市に移動しました。大人数の路線バス移動は大変なのですが、金圭一先生(元京畿道の特殊教育分野指導教師)のサポートでスムーズに移動ができました。

最初に訪問したのは龍仁学校です。同校は江南大学と龍仁市の共同設立の附属特別支援学校で、幼稚部から高等部専攻科まである学校です。前校長の金容漢先生が丁寧に案内をしてくださいました。

次に近現代美術館 Damda (<http://www.damda3.com>) を訪問しました。ちょうど障害のある画家ジョン・ソンウォンさん(龍仁学校高等部専攻科の卒業生)の個展が開かれていて、本人とお母様もいっしょに昼食会を行いました。美術館では韓国古楽器のミニコンサートも実施して下さり、楽しい時を過ごしました。

昼食後は江南大学附属幼稚園を見学し、江南大学国際交流センターで大学概要の説明を受けました。

ここで各ゼミは解散、別行動となりました。大杉ゼミは江南大学に残り、特殊教育学科の李在旭教授の学生と合同ゼミを行い、いっしょに電車でソウル市内に帰ってきました。

26日(木)は3グループに分かれて、江南大学学生の案内でソウル市内を観光しました。

昌徳宮で民族衣装を着て記念写真を撮るグループ、東大門市場を散策してトッポギを食べるグループ、南大門のマーケットを散策するグループ、それぞれ良い交流ができました。午後には A TWOSOME PLACE (日本のドトールのようなカフェ) の3階で22名全員が集合し、お互い日本語と韓国語を交えた会話が盛り上がりました。最後に、明洞教会で記念写真を撮り解散、その後も交流が続いたグループもありました。

お互いの言語は堪能ではなくても、話したいことがたくさんあって、スマホの翻訳アプリも駆使すれば、有意義な交流ができることを体感できたことが今回のフィールドワークの一番の成果であったと思います。お互い外国の近接する研究分野の同年代の友達がたくさんできたことは、大きな成果だったと思います。





정성원展 VIII
여우야 여우야
무한니굴
여원별의
대단
2026
2.21 ~ 3.6

